



会報

さけび

朝日 12.15/09 熊日

荒瀬ダム 撤去求め県議連発足

存廃問題が論議されており、県議連が発足。島部大知事に要請書を提出する。八代市坂本町の市議、県関係の国会議員、提出する。県議連の設立をめぐり、11月に八代市議有志60人が加盟。年内に満14人で設立した市議連。設立総会が13日、八代市

頼りになりません議員連盟 勝手過ぎます県企業局



設立総会でガンバロー三唱をする加盟議員ら

＝八代市厚生会館

が「地元だけでなく、県全体の政治課題として取り組むべきだ」として、球磨川流域市町村、熊本市などの市議にも呼び掛けた。同市厚生会館での設立総会には加盟議員のうち35人が出席。民主党の松野信夫参院議員、社民党の中島隆利衆院議員、鎌田豊貞県議、八代市議連代表の田中茂市議の4人を共同代表に選出。蒲島知事に対し「県内全域に撤去の声があることを認識した上で、撤去に向けた取り組みをする」▽住民の理解が得られない水利権更新の許可申請はしない「などを求める要望書」を提出した。松野、中島両議員は

「ダム問題の焦点は川辺から荒瀬に移りつつある。地元で撤去の声を上げ、知事に撤去の決断を迫っていくことが重要」と訴えた。(野田一登) 民主県連代表に国支援策質問状 県議連常任委 八代市坂本町の県議連代表は、県議連常任委員会(溝口幸治委員長)は14日、荒瀬ダム撤去への国の支援策を明確に示すよう求める松野信夫民主県連代表あての質問状を提出した。具体的には、支援のための根拠法と実施時期、撤去に伴う国の予算額などを年内に示すよう求めた。(岡藤子)

荒瀬ダム存続へ3方針

地域と共生 環境に配慮 発電益還元

八代市の県営荒瀬ダムについて県企業局は14日の県議会経済常任委員会、ダム存続を前提に、地元とダムの共生のため今後10年間で取り組む「荒瀬ダム対策アクションプラン」の中間報告をした。来年1月に地元で説明して年度内にまとめ、地元住民や関係団体で協議会を作る予定。

荒瀬ダムについて蒲島都夫知事は「撤去条件が整わない限り存続させる」立場。県は今後も撤去に向けた働きかけを国に続ける一方で、存続を前提にしたアクションプランの作成作業を進める。アクションプランでは、発電主体の運用を改め、基本的考え方として①地域と共生する運用②環境に配慮した運用③発電利益の地域への還元

の3本柱を示した。2009年度は18年度に取り組み対策5本柱を列挙した。①環境対策②ダム貯水池の水質悪化を防ぐためのアオコ除去と監視の強化など③安全確保④浸水被害防止対策⑤浸水の可能性がある宅地の土地や道路のかさ上げなど⑥水産振興対策⑦アユ漁振興など⑧④地域対策⑨ダム貯水池周辺の井戸枯れに対して井戸の新設など⑩⑤地域振興対策⑪荒瀬ダムに関連した町おこし事業に年100万円を助成するなど⑫項目。

100万円でだまかすか？

この新聞報道の内容は、どれひとつをとっても、ダムを撤去すれば必要のないことであり、今までのやっておかなければならなかったことばかり。

これらの事業をみると、撤去より存続の方がより予算を必要とすることの証明にはなりませんか？

最後⑩「荒瀬ダムに関連した町おこし事業に100万円を助成する」は、どんなつもりなんでしょう。1000万円ならOKという問題でもありません。

鰐河馬は清流よりも汚濁流 八代 つる詳子
ダム腐水一氣に流れて嗚呼不知火 中山頼行
川辺川を荒瀬路木Kの顔つくり 山本隆英

水利権は更新ではありません 新規設定です

熊本県もマスコミも水利権については「更新」という語句を使っていますが、現在の水利権は来年3月で完全に消滅するのであって、自動車の免許を更新するような軽い感覚で扱ってはなりません。

住民の同意なしには水利権の許可を下してはなりません。球磨川漁協は一貫して同意しないことを決定しています。これらを含め法的な根拠など本日しっかりと学習させていただきたいと思えます。

書き損じはがき寄付ありがとうございます 現在398枚の協力です 最終~~12~~切1月27日